



NPO 法人 京都観光文化を考える会

都草だより

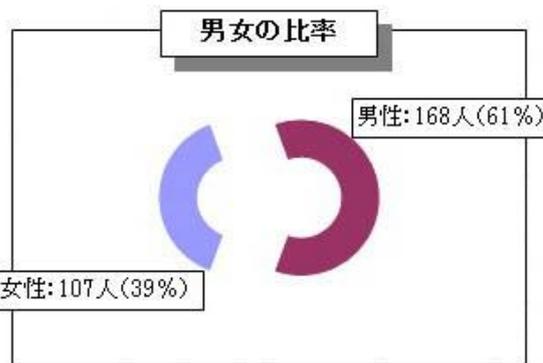
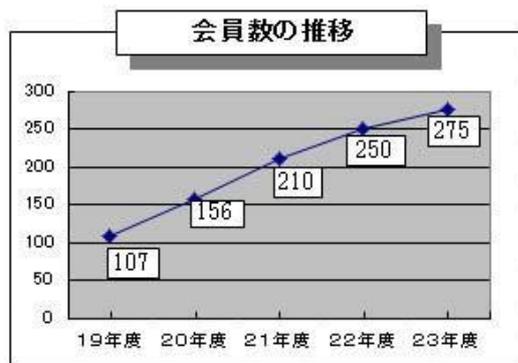
第7号
 発行人：坂本孝志
 編集人：西野嘉一
 発行所：京都市上京区
 下立売通新町西入
 京都府庁旧本館2階
 電話：075-451-8146

都草だよりの再刊によせて

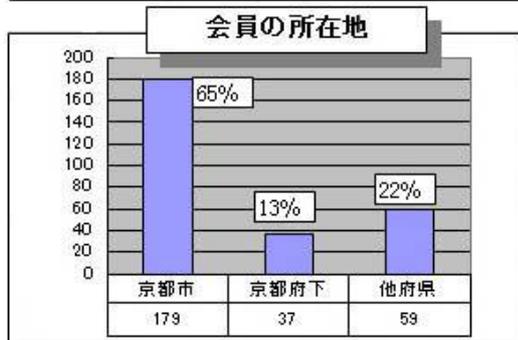
第6号（平成21年11月）まで続いていた「都草だより」は、発行をしばらく休止していましたが、この度紙面を新たに再刊することになりました。内容は、会の活動紹介や会員からの投稿を主体とし、「行事予定・ガイド募集のお知らせ」などは従来どおり別紙でお送りする予定です。都草ホームページの運営と併せて、広報部の皆様のご活躍を期待したいと思います。

さて、都草は平成19年8月にNPO法人として発足して以来、美化活動・ツアーガイド・施設内案内業務などのボランティア、研究発表会・歴史探訪会・研修会などの自己研鑽、その他京都検定模擬試験や雑誌や新聞への寄稿、都草さろんの開催など幅広い活動を展開してまいりました。活動の詳細については総会でお配りした資料のとおりですが、5周年を迎えたこの機会に、都草会員の人的構成について調べてみましたので、その概要を発表致します。“京都を学び・語り・遊ぶ”をモットーに、今後とも皆様にとって豊かで楽しい「都草」でありますようお願いしています。

理事長 坂本孝志



会員総数 275名 (平成23年6月現在)



所在地	人数
京都市	179
亀岡市	3
南丹市	2
木津川市	1
京田辺市	4
城陽市	4
長岡京市	5
向日市	2
八幡市	8
宇治市	8
北海道	1
千葉県	1
埼玉県	1
東京都	6
愛知県	2
岐阜県	1
三重県	1
滋賀県	12
大阪府	26
兵庫県	6
奈良県	2



広報担当理事 西野嘉一

祇園祭も終わり、いよいよ暑さも本番となつてまいりました。今日このごろ、会員のみなさまにおかれましては如何お過ごしでしょうか。

さて、長い間休刊しておりました「都草だより」がやっと再刊の運びとなりました。ただし、これからは都草の活動状況と共に、出来る限り会員のみなさまのお声や新会員の紹介等を載せて、より身近な紙面作りを目指してまいりたいと思います。

会員のみなさまの個展や展示会、講演会や発表会、演奏会のお知らせ、同好会やサークル活動への提案やお誘い、神社拝観や博物館、美術館観覧での感想、また、お住まいの地域での情報等々のような内容でもかまいません。

会員のみなさまの投稿をお待ちしております。

この「都草だより」を通して、会員同志のより一層の親睦がはかられ、これからの人生の良き仲間が得られれば幸いです。

是非みなさまのご意見、ご感想をお寄せください。お待ち申し上げております。

都草の活動に是非、ご参加ください！

「京都まちなか交通・観光案内所」の運営に都草が協力！！

平成 23 年 7 月 12 日、四条河原町上るに「京都まちなか交通・観光案内所」が開設されました。

世界的な歴史・観光都市である京都のまちなかに、はじめて観光案内所ができたということに大きな意義があります。

案内所の実施主体は、河原町商店街振興組合（店舗提供等）・京都まちづくり交通研究所（運営）による民間の合同会社（LLC）で、都草はその協力機関として、毎週土曜日の案内業務、および第 1 から第 4 まで毎日曜日に行われる「歩くまちなかウォーキングツアー」の企画・実施を担当します。

京都の観光が「量から質への転換」をめざして動き出した時期に、今後「着地型観光：歩いてまわる京都・歴史ガイド」を推奨する都草の社会的役割は大きいと言えます。



写真撮影：海道ただかず

案内所を起点としたウォーキングツアーは下記の 4 コース（午前 10 時 30 分スタート：約 2 時間）要予約・有料

第 1 日曜日：「歴史を秘める街 寺町かいわいから、三条通の洋館を巡る」

第 2 日曜日：「祇園を抜けて、八坂塔の見える径を歩く」

第 3 日曜日：「明治維新の舞台、高瀬川沿いを往く」

第 4 日曜日：「白川の清流を辿って、東山ふもとの社寺を訪ねる」



祇園祭「大船鉾」祭礼ボランティア！



写真撮影：海道ただかず

大船鉾は祇園祭後祭の山鉾の最後尾を巡行していましたが、元治元年（1864 年）の蛤御門の変で本体木部が焼失。その後再興することはありませんでした。しかし、中止の間もありましたが居祭は承継されてきました。

その居祭を含む「京都祇園祭の山鉾巡行」が、平成 21 年にユネスコ無形文化遺産に登録され、そしてこのことを契機に、大船鉾の復興、山鉾巡行復帰への機運が一気に高まりました。

このような背景のもと、会員の家族や友人を含め総勢 32 名が、13 日～17 日までの 5 日間にわたり、大船鉾祭礼ボランティアをいたしました。それぞれがお似合いの浴衣姿！で、和気あいあいと粽授与等のお手伝いをいたしました。雨粒が一滴も降らない厳しい暑さの中で、額髪も乾くことが

ありませんでした。

皆さんお一人お一人の何か充実感に満たされたお顔や、時になんともいえない優しい笑顔を湛えておられたことが、深く印象に残りました。

また、大船鉾保存会代表理事小松居米三さんも、大変喜んで下さったというお話をお聞きし、それぞれの皆さんのお気持ちとお力が、どれほど素晴しかったかと、あらためて敬意と感謝の念を強く抱きました。本当に、心涼しい思いに満たされた夏の数日間でした。

小松香織

